

予 算 科 目	農業振興費					
事 業 名	人と環境にやさしい農業対策事業費					
事 項 名	長崎農産物安全安心向上事業費（環境班）					
(根拠・関連法令等) 長崎県食品の安全・安心条例、長崎県版GAP推進方針、持続的生産強化対策事実施要綱、有機農業の推進に関する法律、長崎県有機農業推進計画、長崎県特別栽培農産物認証制度農薬取締法、食品衛生法、植物防疫法、消費・安全対策交付金実施要綱および実施要領環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 国際水準GAP（農業生産工程）の取組拡大に向け、GAP指導員等による指導活動を実施する。有機JAS制度や栽培技術等について指導・助言を行う有機農業指導員を育成し、有機農業等の振興を図る。農作業事故発生防止のため、農作業安全確認運動等の意識啓発を図る。 安全・安心な農作物を消費者に供給するため、農薬を適正に使用する必要があることから、農薬安全対策の推進、農薬適正使用および無人航空機による農薬散布の安全対策を徹底することで、省力化・低コスト化を図る。 					
内 容	(事業実施期間) 令和3年度～令和6年度 (事業内容) 1. GAPの普及推進（国庫：1,457千円、県単：248千円） ①改定GAPガイドラインに基づいた指導を実施し、県版GAP取組農家の底上げを図る。 ②GAP指導員等の資質向上を図る。 ③環境負荷低減に取り組む生産団体のGAPの団体認証取得支援 2. 有機農産物や長崎県特別栽培農産物の取組支援拡大 (国庫：20,280千円、県単：979千円) ①有機農業指導員の育成 ②長崎県有機農業推進ネットワーク活動支援 ③有機農業先進地区（オーガニックビレッジ）創出に向けた取組試行への支援 3. 農作業安全推進（県単：405千円） ①農業機械士制度の推進 ②農業大学校及び長崎県農業機械士連絡協議会による農作業安全研修の実施 ③農作業安全確認運動の実施（春・秋の年2回） ④長崎県農作業安全推進協議会の開催 ⑤農作業安全指導員の育成 4. 農薬安全・適正使用推進（国庫：1,425千円、県単：463千円） ①農薬安全対策 ②農薬適正使用 ③無人航空機安全対策の推進 ④市町、団体等への助成事業					
予 算 額 (千円)	年 度	金 額	財 源 内 訳			
			国 庫	県 債	そ の 他	一 般
	令和3年	2,007	1,312			695
	令和4年	25,257	23,162			2,095

OGAP 推進および有機農産物や長崎県特別栽培農産物の取組支援拡大

GAP（農業生産工程管理）	オーガニック・エコ農業
<p>現状・問題点</p> <p><長崎県の取組状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・GAP取組数（基礎的な取組を点検したGAP取組を含む）：R2年度末現在141団体 ・GAP認証取得数(JGAP、ASIAGAP、GLOBAL.G.A.P.、日生協GAP等) R2年度末現在27団体・個人 <p><課題・問題点></p> <p>食の安全・安心に対する消費者の関心や持続型農業の必要性は高く、今後取引先からGAP取組や認証取得を求められることが想定される。</p> <p>また、GAP指導員等は国際水準GAPガイドラインに基づく指導を行う必要がある。</p>	<p><国の有機推進計画目標></p> <p>0.4%⇒1.0%</p> <p><長崎県の取組状況></p> <p>R2年度末現在195ha 0.4%</p> <p><課題・問題点></p> <p>有機農業の面積が伸び悩む理由として、「有機農業に関する技術的な支援が受けにくい」、「慣行栽培より生産経費や労働時間がかかる」、「栽培規模が小さい場合が多く、生産ロットが少ない」、「慣行栽培より高い価格を理解してもらえない」ことが挙げられる。</p>
<p>取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GAP指導員等の資質向上 ・モデル農家へのGAP指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・有機農業指導員の育成 ・長崎県有機農業推進ネットワーク活動 ・オーガニックビレッジの取組支援
<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地計画策定集団を中心とした全ての農業者の国際水準GAPの実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・有機農業指導員の育成数3人→18人 ・有機農業栽培面積割合を耕地面積の1%

食品の安全性向上、環境の保全、労働安全の確保、競争力の強化、品質の向上、農業経営の改善や効率化に資するとともに、消費者や実需者の信頼の確保が期待され、食品安全に係る問題発生時の未然防止や、問題発生時の迅速な対応が可能となる。⇒ 輸出拡大、農業人材の育成

生物多様性保全や地球温暖化防止に効果のある有機農業等に対して支援を行う。⇒ 環境への配慮とSDGsへの貢献、安全・安心な農産物の供給拡大

○農薬安全・適正使用推進

1. 病虫害防除基準・雑草防除基準の策定・配布

- ・農林業技術協議会 11月17日、18日、19日、24日 Web会議
- ・令和4年防除基準説明会 関係機関、農薬メーカーへの資料送付
- ・令和4年病虫害防除基準・雑草防除基準の作成・配布 440部 令和4年3月末

2. 農薬危害防止運動月間（6月1日～8月31日）

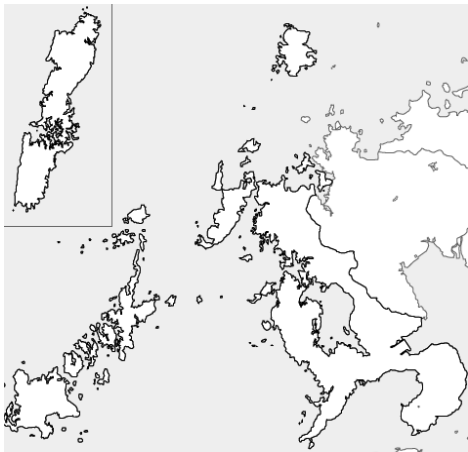
- ・農薬危害防止ポスターの作成・配布
 - ・地区別農薬安全対策講習会の開催 12月16日 Web会議
- 市町、農薬販売業者、造園業者、農協職員、ゴルフ場農薬取扱担当者等を対象

予 算 科 目	農業振興費					
事 業 名	人と環境にやさしい農業対策事業費					
事 項 名	グリーン栽培体系転換事業費（環境班）					
(根拠・関連法令等) みどりの食料システム戦略、長崎県食品の安全・安心条例、持続的生産強化対策事実実施要綱、有機農業の推進に関する法律、長崎県有機農業推進計画、長崎県特別栽培農産物認証制度 環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律						
事 業 概 要	国の「みどりの食料システム戦略」の実現に向けて、産地に適した「環境にやさしい栽培技術」と「省力化に資する先端技術等」を取り入れた「グリーンな栽培体系」への転換を推進するため、産地に適した各種技術を検証し、定着を図る取組を支援する。					
内 容	<p>(事業実施期間) 令和4年度～令和6年度</p> <p>(事業内容)</p> <p>1. 県が行う事業</p> <p>県内各地の地域農業振興協議会等が事業実施主体となり、国の「みどりの食料システム戦略」の実現に向けて、産地に適した「環境にやさしい栽培技術」と「省力化に資する先端技術等」を取り入れた「産地に適した「グリーンな栽培体系」への転換に向けた各種取組を支援。</p> <p>(1) 地域農業振興協議会等が事業実施主体となり、技術検証、先進事例調査等に取り組む</p> <p>(2) 産地・品目毎に慣行栽培からグリーンな栽培体系への転換に向けた技術の検証を行う</p> <p>(3) グリーンな栽培体系の実践に向けた栽培マニュアルの検討、産地内への普及に向けた産地戦略（ロードマップ）の策定を行う</p> <p>(4) 産地で策定した栽培マニュアルや産地戦略について、他産地等へ向けた情報発信を行う</p>					
予 算 額 (千円)	年 度	金 額	財 源 内 訳			
			国 庫	県 債	その他	一 般
	令和3年	25,200	25,200			—
	令和4年	7,200	7,200			

令和4年度 グリーンな栽培体系への転換レポート取組一覧 (R4.4.1現在)

振興局	管轄JA	事業実施主体	品目	環境にやさしい栽培技術	省力化に資する技術	備考
県央	長崎せいひ	長崎西彼地域農業振興協議会	いちご	防虫ネット (アザミウマ類)	防虫ネット (アザミウマ類)	スリムホワイト (光反射資材を織り込んだもの)
				防虫シート	防虫シート	
				防草シート	防草シート	
県央	ながさき県央	県央地域農業振興協議会	いちご	天敵製剤の導入 (リネニカスカアリアダニ)	天敵製剤の導入 (リネニカスカアリアダニ)	
				生物農薬 (アザミウマ類)	生物農薬 (アザミウマ類)	スリムホワイト (光反射資材を織り込んだもの)
				防虫ネット (アザミウマ類)	防虫ネット (アザミウマ類)	土壌改良資材 (転炉石ラグ) による土壌病害 (根こぶ病) 抑制
島原	島原雲仙	島原地域農業振興協議会	キャベツ	転炉石ラグの活用	転炉石ラグの活用	
				シストゼンチュウ抵抗性品種「アイマサリ」の導入	シストゼンチュウ抵抗性品種「アイマサリ」の導入	疫病初発時期予測システム (FLABAS-N)
				疫病予測システムに基づく農薬散布	疫病予測システムに基づく農薬散布	
県北	ながさき西海	県北地域農業振興協議会	ブロッコリー	セル内施肥 (局所施肥)	セル内施肥 (局所施肥)	
				有機質肥料の使用		
				ドローン防除	ドローン防除	
五島	五島市	五島市農業振興対策協議会技術者会	かぼちゃ	UV-ブルーを用いた病害虫防除	UV-ブルーを用いた病害虫防除	
				UV-ブルーを用いた病害虫防除	UV-ブルーを用いた病害虫防除	
				有機質肥料利用技術 (鶏糞ベレット)		
香岐	香岐市	香岐市スマート農業推進協議会	アスパラガス	不織布資材を利用したトンネル栽培	不織布資材を利用したトンネル栽培	
				有機農業	アシストーツ	
				有機質肥料利用技術 (豚糞堆肥)	兼用言語収穫機	
対馬	対馬市	対馬農林業振興協議会	水稲	硫黄被覆尿素の活用	ラジコン除草機の利用	
				バイオ炭の土壌散布	紙マルチの抑草活用	
				電動作業機の活用	電動プロアの落葉除去活用	
香岐	香岐市	香岐市スマート農業推進協議会	飼料作物	自動操舵システム (直進アシスト)	自動操舵システム (直進アシスト)	
				リコン式草刈機	リコン式草刈機	
				水管理システム	水管理システム	
対馬	対馬市	対馬農林業振興協議会	水稲	光散乱フィルムによる被覆	自動灌水システム	
				ドローン立毛播種	ドローン立毛播種	
				不耕起栽培	不耕起栽培	
対馬	対馬市	対馬農林業振興協議会	水稲	いちち病抵抗性イタリアンライグラス品種 (ヤコウセ) への切り替え	いちち病抵抗性イタリアンライグラス品種 (ヤコウセ) への切り替え	
				有機質の割合が高い肥料の施用	本田防除回数削減技術 (本田散布剤を箱施薬に切り替える)	本田防除剤の散布回数を3回→2回へ削減
				有機質の割合が高い肥料の施用	本田防除回数の低減技術 (本田散布剤を箱施薬に切り替える)	箱施薬に枯枯病防除成分を含めたものに転換

予 算 科 目	農業振興費					
事 業 名	人と環境にやさしい農業対策事業費					
事 項 名	土と水すこやか農業推進事業費（環境班）					
(根拠法令等) 島原半島窒素負荷低減計画、諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための環境計画、長崎県産業廃棄物税条例						
事業概要	環境保全型農業を推進し、閉鎖水域が多く地下水を水源とする地域を擁する長崎県において、農地から流出する窒素等の削減によって水資源の保全を推進する。					
内 容	(事業実施期間) 令和3年度～令和5年度					
	(事業内容) 1. 県推進活動（県単 304 千円、国庫 531 千円） ①環境保全型農業推進協議会の開催 ②県や地域における協議会及び研修会の実施（県施肥基準や地域施肥基準改正検討） ③堆肥の肥料効果を考慮した土壌診断に基づく適正施肥推進 ④環境にやさしい現地実証展示圃設置（2ヶ所） ⑤堆肥による土づくり推進のための連用試験(1 試験) ⑥農地土壌炭素貯留等基礎調査（定額）（国庫 531 千円） 2. 諫早湾調整池周辺地域における水質保全対策（県単 1,307 千円） ①諫早湾周辺地域カバークロープ導入促進事業（県4 / 10 以内） 3. 適正施肥による島原半島の窒素負荷低減（繰入金 1,422 千円） ①未利用資源・石膏施用促進のための技術確立（産廃税：1 試験）					
予 算 額 (千円)	年 度	金 額	財 源 内 訳			
			国 庫	県 債	その他	一般
	令和3年	4,097	578		1,218	2,301
令和4年	3,564	531		1,422	1,611	



【背景】

○第3期諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画

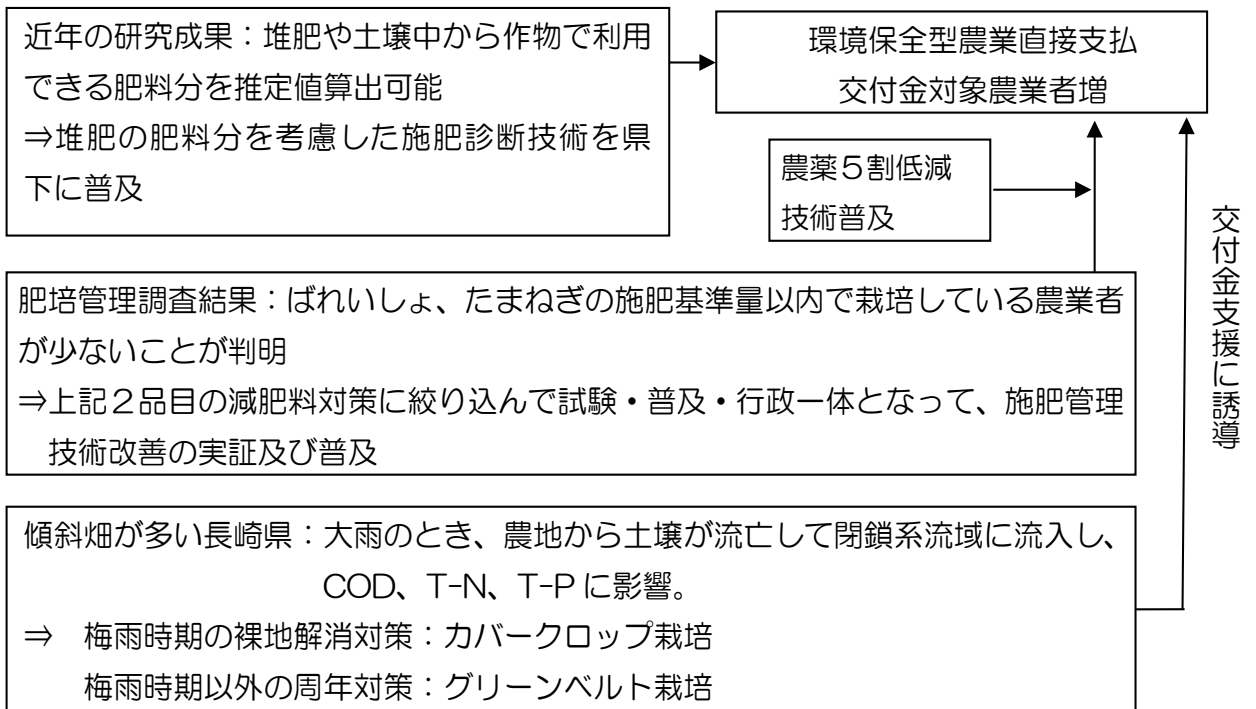
- 調整池水質保全目標値：COD75%値 5mg/L、T-N 1mg/L、T-PO.1mg/L 未達成

○第2期島原半島窒素負荷低減計画（令和2年度改訂版）

- 中期目標(R7年度)：地下水定期モニタリング調査結果(17地点)で硝酸態窒素等環境基準超過地点数が7地点以下(最終目標は0地点※達成時期は未定)
- R1年度調査結果：8地点で環境基準超過

○大村湾環境保全・活性化計画

- 目標(R7年度)：COD75%値 2.0mg/L、T-NO.2mg/L、T-PO.02mg/L 以下



目標：有機・特別栽培面積の拡大

R3年現在 1,801ha ⇒ R7年度までに 2,100ha

年度	R3	R4	R5	R6	R7
有機・特別栽培目標実面積 (ha)	1,860	1,920	1,980	2,040	2,100

事業効果

- 環境と調和した持続可能な農業による長崎県の環境保全に貢献
- 農薬・肥料代等コスト軽減による農業者の経営安定に貢献

予 算 科 目	農業振興費					
事 業 名	環境保全型農業直接支援対策事業費					
事 項 名	環境保全型農業直接支援対策事業費 (環境班)					
(根拠法令等) 農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する基本指針、環境保全型農業直接支払交付金実施要綱・要領						
事業概要	化学肥料・化学合成農薬の使用量を慣行の5割以上低減する取組に併せてカバークロップ、堆肥の施用及び有機農業等、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果のある取組を行う農業者の組織する団体等に対して支援を行う。					
内 容	<p>(事業実施期間) 令和2年度～</p> <p>(事業内容)</p> <p>1. 県が行う事業 934,000円 (国庫：662,000円、県費：273,000円)</p> <p>(1) 環境保全型農業直接支払交付金の推進活動 環境保全型農業直接支援対策の推進を図るため、現地等において説明会や研修会、及び県内担当者会を開催する。</p> <p>(2) 環境保全型農業直接支払交付金に係る計画書等の作成支援・指導及び技術的確認 生産計画等に係る作成支援・指導及び先進的な取組に関する確認を行う。</p> <p>2. 市町、団体等への助成事業</p> <p>(1) 環境保全型農業直接支払推進交付金 1,920,000円 (国庫：1,920,000円) 環境保全型農業直接支援対策の交付対象となる農業者グループ等の対象活動の実施を確認するための事務に対し支援を行う。 ・事業主体：市町 ・助成対象：農業者の組織する団体等の対象活動の実施を確認するために要する経費 ・補助率：定額</p> <p>(2) 環境保全型農業直接支払交付金 100,026,000円 (国庫：66,683,000円 県費：33,343,000円) 地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者の組織する団体等に対して直接支援を行う。 ・事業主体：農業者の組織する団体等</p>					
予 算 額 (千円)	年 度	金 額	財 源 内 訳			
			国 庫	県 債	その他	一 般
	令和3年	102,827	69,217			33,610
	令和4年	102,880	69,264			33,616

環境保全型農業直接支援対策の概要

【支援対象取組・支援単価】

取組条件	取組メニュー		交付単価(円/10a)
県の慣行基準から化学合成農薬及び化学肥料を5割以上低減する取組	○全国共通取組		
	有機農業	そば等雑穀、飼料作物以外	12,000
		そば等雑穀、飼料作物以外 このうち、炭素貯留効果の高い有機農業を実施する場合	14,000
		そば等雑穀、飼料作物	3,000
		堆肥の施用	4,400
	カバークロップ		6,000
	リビングマルチ		5,400
		うち、小麦、大麦等	3,200
	草生栽培		5,000
	不耕起播種		3,000
	長期中干し		800
	秋耕		800
	○地域特認取組		交付単価は県が設定(円/10a)
	IPM（総合的病害虫・雑草管理）		8,000
	敷草栽培（敷草用半自然草地の育成管理）		8,000

※平成30年度より、GAPに取り組むことが要件化（認証取得を求めものではない）

令和3年度環境保全型農業直接支払交付実績 R4.2月末現在

	取組面積(単位：a)								合計	交付額 (円)※
	共通取組					地域特認取組				
	カバークロップ	有機農業	堆肥施用	草生栽培	計	IPM	敷草栽培	計		
長崎県	7,651	11,290	30,581	222	49,744	108,478	115	108,593	158,337	118,760,040
長崎市	0	245	0	0	245	0	0	0	245	294,000
佐世保市	0		43	0	43	6,567	0	6,567	6,610	5,272,520
諫早市	4,441	250	27,420	0	32,111	37,422	0	37,422	69,533	45,017,000
大村市		325		0	325		0	0	325	414,800
平戸市		58		0	58		0	0	58	69,600
松浦市				0	0	986	0	986	986	788,800
対馬市	69			0	69	3,343	0	3,343	3,412	2,715,800
壱岐市		325		0	325	22,566	0	22,566	22,891	18,460,600
五島市	501	5,660	231	0	6,392	86	115	201	6,593	7,355,040
西海市	44	193		0	237		0	0	237	258,000
雲仙市	1,192	2,035	2,697	0	5,924	21,858	0	21,858	27,782	21,830,280
南島原市	1,404	1,239	190	222	3,055	8,622	0	8,622	11,677	9,468,600
東彼杵町	0	60	0	0	60		0	0	60	72,000
川棚町	0		0	0	0	866	0	866	866	692,800
波佐見町	0	203	0	0	203	5,490	0	5,490	5,693	4,676,200
佐々町	0	697	0	0	697	672	0	672	1,369	1,374,000

※交付額：国費＋県費＋市町費

予 算 科 目	農業振興費					
事 業 名	地力増強対策費					
事 項 名	土壌肥料対策推進費 (環境班)					
(根拠法令等) 肥料の品質の確保等に関する法律						
事 業 概 要	肥料の品質の確保等に関する法律に基づき、普通肥料登録と指定混合肥料や特殊肥料及び肥料販売業者の届出・検査事務、肥料生産状況の調査等を実施する。					
内 容	(事業実施期間) 実施期間設定なし (事業内容) 県が行う事業 1. 肥 料 (1) 普通肥料の登録審査 (2) 特殊肥料及び指定混合肥料生産業者届出書受理審査並びに立入検査 (3) 普通肥料・特殊肥料の生産状況調査 (普通肥料・特殊肥料生産業者からの報告) (4) 肥料販売業務届出書の受理審査					
予 算 額 (千円)	年 度	金 額	財 源 内 訳			
			国 庫	県 債	その他	一般
	令和3年	122				122
	令和4年	116				116

1. 県内肥料販売業届出状況

	販売業者総数
令和2年12月末	989
令和3年12月末	999

2. 県登録普通肥料並びに特殊肥料届出状況

区 分		有効登録又は届出数
普通肥料 ※指定混合肥料除く	令和2年12月末	60
	令和4年3月末	59
特殊肥料	令和2年12月末	363
	令和4年3月末	368

予 算 科 目	植物防疫費					
事 業 名	病害虫発生予察費					
事 項 名	病害虫発生予察費 (環境班)					
(根拠法令等) 植物防疫法・同施行規則 (植物防疫事業交付金) 消費・安全対策交付金実施要綱 同 上 実施要領						
事業概要	<p>水稻、麦等の普通作物、果樹等永年性作物並びに野菜の病害虫の発生状況、農作物の生育状況等を定期的に調査し、気象条件等をふまえながら病害虫による損害の発生を予測し、防除に必要な病害虫発生予察情報を提供し、適時適切な防除を推進する。</p> <p>病原菌の薬剤耐性の実態調査、抗血清等を利用したウイルス病の診断等を実施し、適切な防除対策に資する。</p>					
内 容	<p>(事業実施期間) 実施期間設定なし</p> <p>(実施内容) 県が行う事業</p> <p>1. 病害虫の発生状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象作物数：15品目 対象病害虫数：指定病害虫66、重要病害虫95の合計161病害虫 調査地点数：県予察圃場1地点、巡回調査116地点の合計117地点 特定点調査として、予察灯5カ所、フェロモントラップ22カ所、粘着トラップ1カ所、ネットトラップ1カ所とヒメトビウンカや果樹カメムシ類の越冬量等の調査を実施 <p>2. 予察情報の種類と提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の種類は予報、注意報、警報、特殊報、防除情報、技術情報の6種類 予報は毎月1回、15日頃発表、他は随時発表 病害虫防除所が作成し、関係機関へメールまたはFAXで提供 <p>3. 診断対策</p> <p>病害虫の診断、農薬に対する耐性菌・抵抗性害虫の検定を行い、適切な防除対策に資する。</p>					
予 算 額 (千円)	年 度	金 額	財 源 内 訳			
			国 庫	県 債	そ の 他	一 般
	令和3年	6,468	4,410			2,058
	令和4年	6,185	4,242			1,943

1. 県予察圃場及び地区予察圃場の設置場所、対象作物数（R 4 年度予定）

	設置場所等	調査対象作物数
県予察圃場	病虫害防除所	10

2. 巡回調査地点の対象作物と地点数（R 4 年度予定）

	実地点数	調査対象作物数
巡回調査	116	15

水稻（早期（12）、普通期（26））、麦（10）、ばれいしょ（8）、大豆（5）、かんきつ（12）、びわ（2）、なし（4）、茶（4）、トマト（4）、きゅうり（3）、たまねぎ（4）、レタス（5）、いちご（10）、アスパラガス（4）、ブロッコリー（3）

3. 病虫害発生予察情報の発表状況（R 3. 4～R 4. 3）

種類	回数	内容
予察情報	12回	病虫害の発生予測及び防除情報を毎月1回（15日頃）に発表。
警報	0回	重要病虫害の大発生による甚大な被害が予想され、早急な対策が必要と判断された場合に発表される極めて重大な情報。
注意報	4回	警報ほどではないが、重要な病虫害の多発生が予想され、早めの防除が必要な場合に発表される情報。
特殊報	1回	県内で初めての病虫害が確認された場合や、病虫害の加害状況が従来と特異的に変化した場合に発表される情報。
防除情報	27回	注意報ほどではないが、平年より発生が多く注意が必要な場合に発表される情報。
技術情報	7回	すぐに防除の必要はないが、注目すべき病虫害の生態、生息状況等を説明する情報。

4. 診断対策（R 4 年度予定）

(1) ウイルス病検定

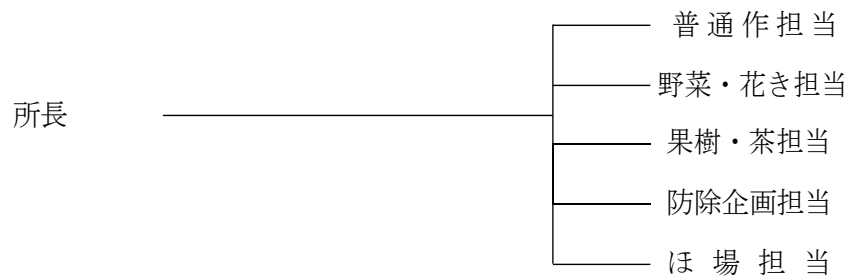
- ・水稻：イネ縞葉枯病ウイルス（ヒメトビウンカ）

(2) 抵抗性検定

- ・水 稲 ヒメトビウンカ、トビイロウンカ： 2 薬剤
- ・かんきつ ミカンハダニ： 6 薬剤
- ・いちご ナミハダニ： 7 薬剤

予 算 科 目	植物防疫費					
事 業 名	病虫害防除所費					
事 項 名	病虫害防除所運営費 (環境班)					
(根拠法令等) 植物防疫法・同施行規則 (植物防疫事業交付金) 植物防疫事業実施要領 植物防疫の施設に関する条例						
事 業 概 要	病虫害防除所の管理、運営、設備の充実を図ると共に、病虫害防除指導や農薬適正使用等について指導を行う。また、病虫害の多様化と発生予察に関する技術分野の進歩に即応するため、病虫害防除所職員を積極的に研修等に参加させ、職員の資質の向上・課題解決を図る。					
内 容	(事業実施期間) 実施期間設定なし (事業内容) 県が行う事業 1. 病虫害防除所の管理運営 2. 病虫害防除所病虫害発生予察ほ場管理 3. 病虫害発生予察業務の外部委託 4. 発生予察職員の研修 ・中央研修 2名 ・一般研修 若干名 ・技術習得研修 1名 5. 病虫害防除所の備品 ・インキュベーター					
予 算 額 (千円)	年 度	金 額	財 源 内 訳			
			国 庫	県 債	そ の 他	一 般
	令和3年	7,369	3,036			4,333
	令和4年	6,957	2,741			4,216

機 構



施設のあらまし

○ 敷地面積	2,019㎡	○ 庁舎	304.60㎡
○ 農薬保管庫	50.40㎡	○ ガラス室	120.48㎡
○ 車庫	147.00㎡	○ 試料調整室	96.50㎡
○ 予察ほ場	水田 7a		
	普通畑 5a		
	野菜畑 5a		
	果樹園 5a		

主な業務のあらまし

【病虫害発生予察】

病虫害の防除計画作成及び防除作業の実施に寄与するため、病虫害の発生及び損害を的確に予想し、関係者への発生予察情報を提供する。

1. 病虫害発生予察状況等の調査及び解析

県予察ほ場調査、巡回調査、予察灯調査、フェロモントラップ調査、
気象調査、作物生育調査、耕種事情調査、発生（被害）面積調査 等

予 算 科 目	植物防疫費					
事 業 名	病虫害防除対策費					
事 項 名	病虫害防除体系構築事業費 (環境班)					
(根拠法令等) 植物防疫法・同施行規則 消費・安全対策交付金実施要綱 同 上 実施要領						
事業概要	多様化・難防除化する病虫害の被害を防ぐため、病虫害の生態解明を図り、耕種的防除法や物理的防除資材等の各種の防除技術を組み合わせた総合的病虫害・雑草管理 (IPM) 技術、及び環境に配慮した防除技術の確立・普及を推進する。 また、甚大な被害を及ぼすおそれのある重要病虫害の侵入警戒調査を実施する。					
内 容	<p>(事業実施期間) 令和3年度～令和5年度</p> <p>(実施内容)</p> <p>1. 県が行う事業</p> <p>(1) ジャガイモシストセンチュウまん延防止対策 本センチュウの発生範囲を特定し、発生が確認された地域においてまん延防止対策の徹底を図る。</p> <p>(2) 重要病虫害侵入警戒調査事業 国内、又は国外への侵入が危惧される重要病虫害の侵入警戒調査を実施し、重要病虫害の早期発見・早期防除に努める。</p> <p>(3) 重要病虫害防除対策 ミバエ類等の重要病虫害侵入時に、迅速に防除対策を実施し、まん延防止を図る。</p> <p>(4) 難防除病虫害防除技術確立事業 現地で防除に苦慮している「トマト黄化葉巻病」の効果的・効率的な防除体系を確立する。</p> <p>(5) 基幹作物農薬登録促進 農薬登録が少ない本県の基幹作物について、農薬登録に必要な試験を実施することで効果的な病虫害防除に資する。</p> <p>(6) 農薬登録等受託試験 ・無人航空機で散布可能な農薬の登録拡大のため、農薬登録に必要な試験を行う。 ・農薬の実用化のに向けた現地試験を実施する。</p>					
予 算 額 (千円)	年 度	金 額	財 源 内 訳			
			国 庫	県 債	そ の 他	一 般
	令和3年	6,160	3,467		1,867	826
	令和4年	96,271	94,316		1,381	574

1. ジャガイモシストセンチュウまん延防止対策

ジャガイモシスト
センチュウのシスト

<ジャガイモシストセンチュウの特徴>

- ・本センチュウはシスト（卵がたくさん詰まった袋）を形成する。
- ・1つのシストの中に200～500個の卵が入っている。
- ・シスト内の卵がふ化し、土壤中に遊出した幼虫がばれいしょの根に寄生して養分を吸収する。
- ・寄生されると株の生育、塊茎の肥大が悪くなり、寄生数が多い場合、下葉の落葉や株の萎凋等が起こり減収する。
- ・本センチュウはシストの状態です長期間（10年以上）生存するため、いったん侵入すると根絶は難しい。



<まん延防止対策>

発生範囲の
特定調査



- 入れない・広げない
 - ・健全種苗の確保
 - ・発生地から未発生地へ土壌の移動防止
 - ・機械・機具の洗浄
 - ・収穫残渣、くずイモの適正処理未発生地域
- 密度抑制
 - ・薬剤防除
 - ・抵抗性品種の導入
 - ・輪作の実施

2. 重要病害虫侵入警戒調査の実施計画

- ・ミカンコミバエ種群・ウリミバエ 本土18地点×8ヶ月（4～11月）＝288回
離島4地点×7ヶ月（5～11月）＝56回
 - ・チチュウカイミバエ 本土8地点×8ヶ月（4～11月）＝128回
離島1地点×7ヶ月（5～11月）＝14回
 - ・アリモドキゾウムシ 本土6地点×5ヶ月（6～10月）＝30回
離島2地点×3ヶ月（6～8月）＝6回
 - ・トマトキバガ 本土10地点（トマト：4～7月、9～3月）＝88回
（ばれいしょ：4～6月、9～12月）＝84回
- ※調査間隔は、ミバエ類・トマトキバガは月2回、アリモドキゾウムシは月1回
- ・スイカ果実汚斑細菌病 本土2地点×2回（1月）＝4回
 - ・ウメ輪紋ウイルス 主要産地4地点×1回＝4回

合計702回

3. マイナー作物農薬登録試験の取組状況（H26～）

農薬名	対象作物	対象病害虫	本県での試験取組状況		登録
			薬効・薬害試験	作物残留試験	
スコア顆粒水和剤	びわ	灰斑病	H26, H27	H26, H27	H28. 6月
フェニックスフロアブル	びわ	オオタバコガ	H23, H24	H27, H28	R2. 2月
セイビアーフロアブル20	びわ	灰斑病	H26, H29	H29, H30	R2. 6月
ダニコングフロアブル	アスパラガス	ハダニ類	H29	—	R1. 9月
トランスフォームフロアブル	びわ	ナマルカバラムシ	H30, R1, R2		
スプラサイド乳剤40	びわ	ビワジラミ	—	R1	R2. 4月
モベントフロアブル	びわ	ビワジラミ		R2	R3. 7月

4. 無人航空機農薬登録試験の取組状況（H27～）

農薬名	対象作物	対象病害虫	本県での試験取組状況		登録
			薬効・薬害試験	作物残留試験	
エキナイン顆粒水和剤	ばれいしょ	疫病	H29	—	R3. 4月
プロポーズ顆粒水和剤	ばれいしょ	疫病	H30	H30	R2. 4月
ダコニールエース	ばれいしょ	疫病	R1	—	R3. 11月
Zボルドー	ブロッコリー	黒腐病	R1	—	R3. 3月
トルネードエース	ブロッコリー	コナガ	R1	—	R3. 6月
アフアーム乳剤	ブロッコリー	コナガ	R2	—	
アミスター20フロアブル	ブロッコリー	べと病	R2	—	
ウララDF	ばれいしょ	アブラムシ類	R2	—	
オロンディスウルトラSC	たまねぎ	べと病	R2	—	R4. 3月
ジマンダイセン水和剤	たまねぎ	べと病	R2	—	
プレオフロアブル	ばれいしょ	ハモンヨトウ	R3	—	
プレオフロアブル	ブロッコリー	ハモンヨトウ	R3	—	
ディアナSC	ブロッコリー	ハモンヨトウ	R3	—	

予 算 科 目	農業大学校費
事 業 名	農業大学校運営費
事 項 名	農業機械化研修費

(環境班)

(根拠法令等)

農業改良助長法

協同農業普及事業実施要領

農林水産業・食品産業の作業安全のための規範（共通規範）

事業概要

本県農業の次代を担う農業後継者並びに農村地域の指導者を養成するために、県立農業大学校の農作業安全に係る経費の支援を行う。

内
容

(事業内容)

1. 農業機械化研修費・・・・・・農業機械研修など農大研修部の運営に要する経費
(タイヤなどの消耗品、機械修理費等)

(962千円)

1. 農業大学校研修部の実績

(単位：人)

研 修 内 容	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	R2	R3
農業機械士養成研修	48	57	54	69	72	69	64	73	70	23	30
大型特殊免許（農耕）	182	199	169	168	170	221	193	136	177	250	265
けん引免許	62	61	84	86	108	101	122	115	74	95	96
農作業安全研修	197	261	233	454	346	446	603	516	1106	513	228
就農支援セミナー(27年度から技術取得支援研修)	42	35	48	22	25	27	21	36	37	30	40
計	531	613	588	799	721	864	1003	876	1464	911	659

※学生数（R4年度）

[単位：人]

	養 成 部		計	備 考
	1 年	2 年		
学 生 数	39(6)	29(7)	68(13)	()は女子

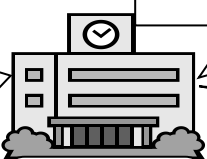
予 算 額 (千円)	年 度	金 額	財 源 内 訳			
			国 庫	県 債	その他	一 財
	令和3年	991				991
令和4年	962				962	

1. 農業大学の概要

【目的】
農業後継者及び農村地域の指導者をめざす者に対し、農業技術の高度化、経営の専門化等の動向に対応できる高度な技術能力、経営管理能力及び組織活動能力を習得させ、農村地域社会に寄与できる実践教育を行う。

【設立年】
○県立農事練習所として大正3年12月に設立（平成26年創立100周年）
○平成7年4月、現在の農業大学校となる

【学部・学科】
○養成部・・・野菜、花き、果樹、畜産



農業大学校
本校：諫早市
畜産学科：島原市

【学生定員】 養成部：70名

【施設概要（面積）】
本校：用地1,675a、建物92a、栽培施設82a、ほ場346a
畜産学科：建物25a、ほ場175a

2. 農業大学の入学者数

(単位：人)

養成部	区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4
	受験	57	52	64	58	45	55	48	42	45	45	30	35	33	45
合格	54	49	54	54	43	50	43	39	37	36	26	32	31	42	
入学	52	47	52	50	42	47	40	39	36	35	24	32	31	39	
研究部	受験	7	2	4	1	0	0								
	合格	6	2	4	0	0	0								
	入学	6	1	4	0	0	0								

3. 農業大学校卒業生の進路状況

1) 養成部

(単位：人)

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	R2	R3
卒業生	55	36	28	40	48	42	50	49	41	42	39	40	34	34	23	32
就農	25	14	18	23	22	23	22	26	19	30	21	27	25	29	18	20
研修	3	5	0	1	4	0	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0
就農率	45.5	38.9	64.3	57.5	45.8	54.8	44.0	53.1	46.3	71.4	53.8	67.5	73.5	85.3	78.3	62.5
進学	3	5	1	4	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	2
未定	5	2	1	1	3	3	1	0	5	1	2	1	0	3	0	0
就職	19	10	8	11	19	16	24	21	15	10	14	11	8	2	4	10

※22年度から研修は就農率に含まない

2) 研究部

(単位：人)

年度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
卒業生	11	8	11	5	11	6	3	3	5	1	3	5	1	4	0	0
就農	5	2	0	1	4	1	2	2	3	0	1	3	1	3	0	0
研修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
就農率	45.5	25.0	0.0	20.0	36.4	16.7	66.7	66.7	60.0	0.0	66.7	60.0	100.0	75.0	0.0	0.0
進学	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
就職	6	6	11	4	6	5	1	1	2	1	1	1	0	1	0	0

※22年度から研修は就農率に含まない

4. 農業大学校研修部の実績

(単位：人)

研修内容	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	R2	R3
農業機械士養成研修	48	57	54	69	72	69	64	73	70	23	30
大型特殊免許（農耕）	182	199	169	168	170	221	193	136	177	250	265
けん引免許	62	61	84	86	108	101	122	115	74	95	96
農作業安全研修	197	261	233	454	346	446	603	516	1106	513	228
就農支援セミナー（27年度から技術取得支援研修）	42	35	48	22	25	27	21	36	37	30	40
計	531	613	588	799	721	864	1003	876	1464	911	659